

いかわ



# 議会 だより

No. 156

2023.10.13



やっと涼しくなりました

9月24日 ちびっこ広場

第3回定例会	2~3
決算審査特別委員会	4~6
常任委員会	7
一般質問	8~11
臨時議会・監査委員の意見書など	12
議員発議・研修会・人事など	13
私のひとこと・議会のうごき	14

9月議会

(会期・9月5日~15日)

9月定例会

9月5日～15日

# 令和4年度決算を 全会一致で認定

## 実質収支黒字

3億1千4百万円となる

9月定例会は9月5日から15日までの11日間の日程で行われました。一般質問では3人の議員が登壇し、町政運営について質しました。

町長から提案のあった条例や補正予算など8議案、令和4年度一般会計・6特別会計と水道事業会計、下水道事業会計の決算を慎重に審査、議案第50号は賛成多数で、その他は全て全会一致で可決・認定されました。人事案件1件は全員同意、陳情1件は全員採択で関係機関に意見書を提出しました。

令和4年度一般会計歳出の主な投資的経費は役場庁舎のエアコン設置と電気設備に4,992万円、さくら駅舎の屋根防水シート更新工事に3,355万円、農村環境改善センター前駐車場整備工事に3,053万円、健康センターエアコン設置工事に2,290万円、今戸海老沢線町道舗装工事に2,897万円などとなっています。

### 議員発議第14号

議員発議で来期（令和6年2月1日改選より適用）より議員定数を12人から11人に決定

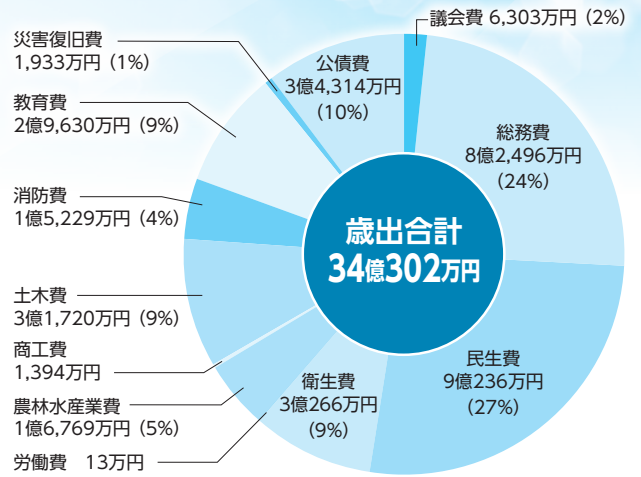
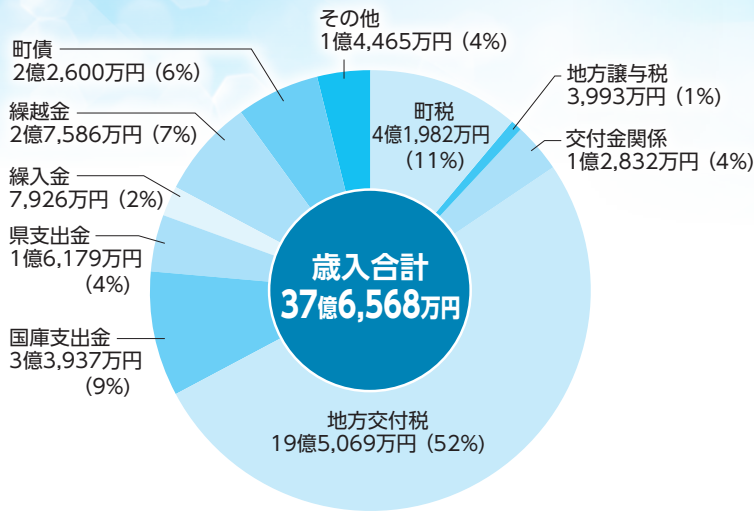
昨年の7月に定数及び報酬調査特別委員会を立ち上げ慎重に協議し、町民との意見交換会も踏まえて協議した結果決定した。

### 議案第50号

町長と副町長の給料を1割減額  
2ヶ月（10月と11月分）とした

8月に職員が酒気帯び運転で逮捕されたことを踏まえ減給したい追加提案があった。反対討論としては職員の刑事処分が決まってから特別職の処分を決定しても遅くないのではないか、賛成討論として町民の模範となるべく職員がこのような不祥事をおこし誠に残念である。よって町長の意志を重く受け止め賛成するなど賛否両論の意見があった。起立採決の結果、賛成が6人、反対が5人により原案どおり可決した。

# 令和4年度 一般会計決算の内訳



## 令和4年度各会計決算額 (単位:万円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	376,568	340,302
特別会計		
国民健康保険事業	64,841	59,794
井川町診療所	8,582	8,582
介護保険事業	95,581	82,521
介護認定事業	3,281	2,533
介護サービス事業	28,404	28,404
後期高齢者医療	6,277	6,277
合計	583,534	528,413
水道事業会計		
収益勘定	11,999	11,599
資本勘定	0	3,541
水道事業計	11,999	15,140
下水道事業会計		
収益勘定	18,737	18,382
資本勘定	9,010	15,300
下水道事業計	27,747	33,682

※金額は千円の位を四捨五入

令和5年度一般会計補正予算は歳入歳出にそれぞれ5,080万円を追加して、総額を35億1,220万円とするものである。

歳出の主なものは带状疱疹予防接種委託料200万円、日本国花苑整備関連事業328万円、義務教育学校ステージ器具改修工事465万円などとなっている。

令和5年10月1日実施より適用

令和5年度 一般会計補正予算  
带状疱疹ワクチン予防接種に助成



新しいエアコンを設置した役場庁舎



町民に喜ばれている環境センター前駐車場

令和4年度

# 決算審査

## 4年度事業を慎重審査

### 成果を町に問う

決算審査特別委員会（鷲谷清利委員長）は9月7日から13日までの期間で、一般会計と6特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の4年度決算を審査した。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約して記載する。



#### 総務課

総務管理費の不用額について

**問** 総務管理費、特に企画費の不用額が多いのは。

**答** コロナ関連事業費で予算不足にならないように措置していたものが多かった。

**問** 予算があるなら、さらに事業展開し

**答** 補助額以上の事業は実施してきた。一般財源が不用額になったことを理解願いたい。

#### 税務会計課

高齢者の確定申告の対応について

**問** 確定申告に来庁した高齢者が階段を上るのに苦勞している。

**答** 申し出があれば1階で申告できる。

**問** 知らずに2階に上がっている方もいるが。

**答** 案内をもっと分かりやすく周知する。

軽自動車税滞納者について

**問** 軽自動車税を滞納している車両の使用状況は。

**答** 把握していない。

**問** 滞納に対する案内は、督促状を出すだけか。

**答** 滞納があり長年使用していないので

あれば、ナンバーを返納すれば税金がからなくなる」と助言している。

#### 町民生活課

マイナカード、住民票コンビニ交付について

**問** マイナンバーカードを利用しての住民票のコンビニ交付は考

**答** 費用対効果がかなり悪い。今後、様々な面で利便性が向上した段階で対応していく。



井川町はマイナカードコンビニ未対応

## ネット詐欺防止について

**問** 新聞等でネット詐欺の記事が見受けられるが、防犯指導隊の対策は。

**答** 町として対応はしていない。防犯指導隊は窃盗等の従来の犯罪に対応している。

**問** 防犯対策を委託しているのであれば活用したほうが良いと思われるが。

**答** 防犯協会、防犯指導隊の活動内では

れることがあれば、議会から話が出たことを伝えて検討して頂く。

## 産業課

### 農耕面積の維持について

**問** 町が取り組んでいる施策の結果として耕作面積が維持されているか。

**答** 維持できていると思う。東部地区では作付けされていなかった農地が作付けされたところもある。

**問** 高齢化で作業を委託することが増えた。農地中間管理機構を積極的に活用しなければと考えるが。

**答** 本筋の農地の集約、集積について取り組んでいる。貸し借りについては相対で契約されている。これから担い手に農地集約をするに当たっては、農地中間管理事業や基盤整備は必要になってくる。なかなかすぐには取り掛かれないが少しづつ力を入れていきたい。

## 教育委員会

### スポーツ施設の町外へのPRについて

**問** スポーツ施設の活用について、町外に向けてPRを行わないのか。

**答** 冬季間、休日の室内練習場はすぐに予約が埋まる状態。また、平日も含めて年間を通してスポ少や部活が雨天時のために予備的に施設を予約している。日中は町内のグラウンドゴルフ協会や貯蓄体操の利用もある。施設の空きが目立つようであれば町外へPRも検討するが、現状は町内利用者を優先しているため、町外へのPRは考えていない。

**問** 下刈り直後は見晴らしがよくなり効果を感じられた。だが、時間とともに草木は伸びてくるため、長期的な効果は得られないと考える。次の候補地は決めているか。

**答** 冬季間、休日の室内練習場はすぐに予約が埋まる状態。また、平日も含めて年間を通してスポ少や部活が雨天時のために予備的に施設を予約している。日中は町内のグラウンドゴルフ協会や貯蓄体操の利用もある。施設の空きが目立つようであれば町外へPRも検討するが、現状は町内利用者を優先しているため、町外へのPRは考えていない。

## 健康福祉課

### こどもセンター職員への給食費について

**問** こどもセンター職員給食費を町負担とすれば、保育士の雇用につながるのでは。一般企業の保育園では職員給食費無償のところもあるが。

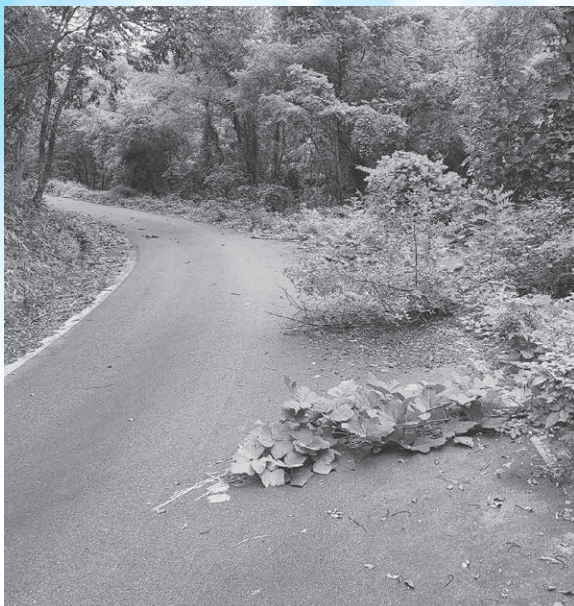
**答** 一般論として給食費は自己負担と考えるが、

えているので、検討はしていない。

### 特別徴収と普通徴収について

**問** 年金が一定金額以下の町民が存在することに對してどう考えるか。

**答** 低所得者への保険料軽減措置もあり、所得に応じた賦課をしていると考えている。



藪がはみ出す大野地赤沢線

### 緩衝帯整備について

**問** 大野地赤沢線は利用する人が少ないが、町内会等の要望があったのか。

**答** 要望はないが、大野地の牧場でクマの目撃情報が多かったことから、県に要望して事業を行った。

## 緩衝帯整備の効果と今後の展望は。

と今後の展望は。



園児と一緒に給食を食べる職員

# 空き家解体補助金 上限見直しか

**石井 茂** 現在175戸の空き家があり、命令が26件ある。命令を下した方に対し具体的な対策が来ていないものが多いように感じる。命令を下した26件についてどのように対処していくか。

**町長** 遠隔地に住んでおり、且つ解体資金のめどが立たない方が多かつた。解体補助金の使用を推し進めていきたい。長期的に見て空き家が増加することが予想されるので、金銭的な補助を含め踏み込んだ対策をしたい。

**町長** 上限を増額するか、現状報告がなければ補助金の対象にならないので、その条件を緩和するかを、空き家対策協議会にて検討し、今よりも支援を拡大していきたいと考えている。

**高橋 剛** 保育園職員給食費納付金について職場

環境改善ということで無償化までとはいかずとも職員に給食手当を検討しないか。

**町長** 自治体が運営する公的な保育園等では、職員に対する給食費の無償化はないと理解している。

**浅野義幸** 有線放送の使用料滞納をどのように考えているか。

**町長** 滞納がないように対応すべきと考えている。一方で金銭的に納付が難しい方がいることも理解している。

**浅野義幸** 有線放送システムが新しくなるのであれば、滞納者については無料の通話機能の無い告知のみの方式も選択できるのではないか。

**町長** 例えば、生活保護受給世帯や高齢者単身世帯については、検討の余地があると考えている。連絡の手段が必要であると判断した場合には、使用料を徴収せずに通話機

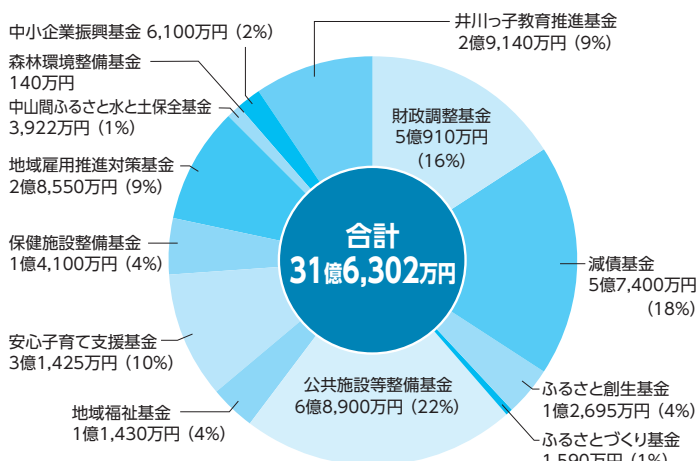
能を使用させる等、詳細な検討を進めていく。

**石井 茂** 令和4年度の基金の残高が一般会計で約31億円になった。令和4年度の不用額が2億円を超えている、その原因についてどのように考えているか。

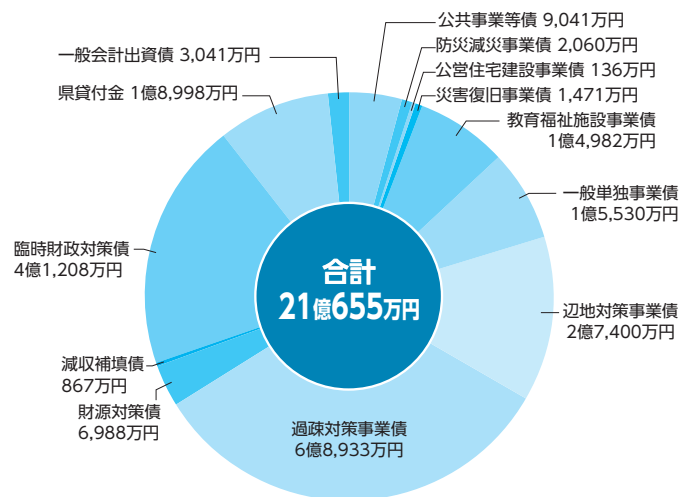
**町長** 不足した場合のことを考えて多めに予算を確保した。そのため、大きな不用額が発生した。



各種基金令和4年度末現在高



各種地方債令和4年度末現在高





# 常任委員会審査

## 総務・産業

**問** ふるさとづくり基金は、どのように活用しているか。

**答** また、子育て事業にふるさと納税と企業版ふるさと納税の寄附があった場合、振り分けて積立できるか。

**問** ふるさとづくり基金は、ふるさとづくり基金に積み立てしている。また、事業の指定がない寄附と事業が定められている寄附があるが、それぞれの用途ごとに分けて積み立てている。

**答** ふるさとづくり基金は既にありと思うが、企業版ふるさと納税基金を新たに作るメリットはあるか。

**問** 企業版ふるさと納税は、単独で基金を設置しないと積み立てできないため、今回新たに基金を設置した。

**問** 企業版ふるさと納税は、町と関わりのある企業からだと思うが、早めのPRが必要と思う。条例を制定するからには、寄附額を増やす取り組みを進めていく必要がある

**答** 日本国花苑整備計画作成業務委託の中で、土地購入の話が出てきたが、本来は計画を作成し

のではないかと。今後、企業が興味を持てるような事業をPRし、企業と関わりのある地銀が増えるよう取り組んでいく。

**問** 日本国花苑整備計画作成業務委託の中で、土地購入の話が出てきたが、本来は計画を作成し



桜見本園の隣接地

活用方法が決まった段階で、土地購入するべきでないか。

**答** 購入する土地付近の

**問** 带状疱疹ワクチン接種は10月1日から実施とあるが、予約が必要か。また、生ワクチンと不活化ワクチンの違いは。

**答** 診療所では、事前予約が必要で予約に応じてワクチン確保を行う予定である。ワクチンの違いは、効果の持続年数と有効率に違いがある。

生ワクチンの持続年数は接種から5〜6年で有効率も50歳で70%、60歳で60%、70歳以上で40%となっている。不活化ワクチンは持続年数10年以上で、有効率も年齢に係らず90%と生ワクチン

エリアで考えていくと、この土地には桜見本園も隣接しており、キャンプ場の面積拡大にもつながるなど、複数の要素を持つているので、必要と考える。

## 教育・民生

に比べて高い。

**問** 義務教育学校のステージの設備は、過去に何度か修理し、修理費用もかなりかかっていると、思うがどう考えているか。

**答** 平成24年に建設され、軽微なものを除けば過去4回程修繕を行っている。定期点検は実施されておらず年数回の使用でしかないため、故障箇所が発見しにくい状況であった。

今回は専門業者が設備全体の点検を実施した結果の修繕費用である。

# ③ 人の議員が町政を質す

定例会初日（9月5日）に一般質問が行われ、3人の議員が登壇した。  
（質問順に掲載）

P9	鷺谷 清利 議員（一問一答方式）
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 上水道の安定的供給について</li> <li>2 水害常襲地帯の解消に向けて</li> </ol>
P10	伊藤 俊郎 議員（一括質問一括答弁方式）
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大雨被害に対する対策は万全であったか</li> <li>2 中学校運動部地域移行への取り組みについて</li> </ol>
P11	三浦 成利 議員（一括質問一括答弁方式）
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 井川町巡回バス利便性向上について</li> <li>2 井川町民の健康寿命について</li> </ol>

白抜きの数字は掲載された質問です。紙面の都合により掲載できなかった質問など詳細は議事録で見ることができます。

議会事務局にお問い合わせ下さい。

## ◆ 一般質問とは ◆

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものである。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することになっている。

井川町では、質問時間は一人につき30分以内で完了することとされている。

質問方式は一括質問一括答弁方式と一問一答方式の選択制となっている。一括質問一括答弁方式は再々質問までとされている。

町政のここが聞きたい



## 一般質問

# 上水道の安定供給を

## 日々の点検を励行する



としきよ 清利  
議員  
やしや 鷺谷

**鷺谷** 7月14日～15日の記録的大雨により本町の上水道も7月17日断水を余儀なくされ、全町民が不安を感じたと思う。通水後も濁りは2日程続き、飲料水、風呂、洗濯など不便を感じた。上水道の水源には大又沢・井川ダム・田代沢の3水源があり、大雨時は田代沢水源が早く濁りも少なくなるため重宝である。大雨時は川底が削ら



上水道3水源のうち大又沢取水源

れ、取水口が破壊されるなど不安定な要素もある。

対策の一案として上流側に堰堤を設置などの方法もある。

堰堤の効果の一つとして、川の流れを緩やかにして土砂の流出を抑える。二つ目として、土砂・流木をせき止め、土石流発生を防止するなどがあ

る。本町の上水道安定供給について、町長はどのように考えているか。

**町長** 本町の上水道の導水管は4本あり、

井川ダムが2本、大又沢・田代沢がそれぞれ1本となっている。今回の断水の原因は大又沢・田代沢水源については細かい土砂が流入して導水管

を塞いでしまったこと。井川ダムの導水管の内、1本は土砂崩れによって導水管が外れたこと。もう1本は詰まったことによるものだと思う。堰堤の効果については

## 水害常襲地帯の解消策は

### 河川改修を県に強く要望する

**鷺谷** 本町の河川水路も大雨時、氾濫すると床上浸水、土砂崩れ、農地の冠水など多くの被害をもたらす。

水害は降雨により上流の水路が下流で合流して川に注ぐ際、水路の排水能力をオーバーする内水氾濫により起こる。

対策としては水路を分流したり、水路断面を変更したり、調整池を設置するなどの方法が考えられるが、町長はどのように考えているか。

**町長** 災害対策の基本は

町民の命、財産を守ることである。ハザードマップを整備し、避難指示などの対応を取っているが、想定以上の大雨

土石流発生防止などの効果はあるが、細かい土砂の流出防止については限定的である。

抑えられたと思っ

が降れば水路の排水能力をオーバーするため内水氾濫を起こしてしまう。

今回の教訓を生かして日々の点検、災害時の職員の出勤体制、業者との連絡体制などに万全を期したい。



ポンプで排水する床上浸水箇所（街道町内）

# 一般質問

## 大雨災害に対する対策は万全か

### 河川の改修・堤防の嵩上げ県に要望



伊藤 俊郎 議員

**伊藤** 当町では、令和5年7月14日からの記録的大雨による被害は、住民の生活に深刻な打撃を与えた。

町の責任、県の責任に於いての対策は有るにしても、町としての対策は万全であったか。1日も早く住民が安全で安心して暮らせる処置を講じるべきと考えるが、町長は今までの災害対策は本当によかったか、今後どのような対策を講じるべきと考えているか。

**町長** 災害対策という点とで、優先すべきことは町民の人命と財産をいかに守るのかである。ハザードマップの整

備、全町内の自主防災組織の立ち上げ、災害時要援護者台帳の作成、危険な空き屋等の解体対策など講じてきた。

今回は、災害が予想された段階で、災害警戒対策室を立ち上げ、災害情報や避難指示は有線放送とエリアメールを活用して情報提供し、消防団による個別の安否確認も実施した。避難が必要な地区の公民館を開放した他、宿泊施設3ヶ所に避

難所を集約し、町職員を配置し、食事提供や宿泊を共にして対応した。

街道町内の災害については、排水が行われている分枝点では排水配分の変更や側溝を清掃し、水の流れを良くした。今後は、河川の改修、堤防の嵩上げ等県に強く要望していくが、町内でやれることがないか今後とも検討していく。



記録的大雨による被災地（井内町内）

## 部活動の地域移行への取り組みは

### 学校の部活動は平日のみ

#### 伊藤

公立中学校での休日の部活動を学校外の指導者に委ねる「地域移行」が近づいている。地域移行後は、指導者への謝金や、会場までの交通費など金銭的負担が増えると思う。自治体や教育委員会のサポートがあれば良いとの声もある。我が町での取り組みはどうなっているか。

#### 教員

一昨年、国から文化部も含めた休日の部活動を段階的に地域に移行する旨の方針が示された。

町の教育委員会では、昨年10月、休日の地域移行について全ての教員と4年生以上の保護者、児童生徒対象にアンケート調査を実施した。その結

果を踏まえ、昨年12月の総合教育会議において、令和7年度末までに学校の部活動は原則平日のみとした。今年になり、地域移行協議会を設置し、今後の取り組みべき事柄については協議を重ねている。また、指導者謝金等保護者の負担軽減については、4町村が足並みをそろえて進めていくのがベターなやり方と考えている。指導者の確保や育成の財政的支援については、国や県に働きかけていく準備を進めている。今後は、ガイドラインを作成し町民に情報を公開しながら進めていく考えである。

# 一般質問

## バス時間変更を

### なかなか難しい



みうら なりとし  
**三浦 成利**  
議員

**三浦** 湖東病院通院の町民が病院最終出発

10時50分の巡回バスに間に合わず毎回タクシーで帰宅しているようだ。年金暮らしの年配者には大きな家計圧迫につながる。出発時間を遅くする変更をできないか。

**総務課長** 委託している中央トランスポートと

打ち合わせを行いながら時間を早めたという経緯がある。不便になったという声もあるが待ち時間が非常に少なくなつて大変よくなったという声も多数あり、ご理解願いたい。

**三浦** 利益重視の民間企業ではないので毎日町民が乗らない、利用

数が少ないからではなく、行政サービスとして交通難民の町民目線とことん調整、変更できないか。巡回バス利便性向上につながると思うが、どう考えているか。

**総務課長** 一人一人の要望をすべてかなえるのはなかなか難しい。今後

町で検討していくデマンド型のような交通機関が

出来た時には、ある程度解消できるのではないかと感じている。

デマンド型交通とは利用者の予約に応じる形で、運行経路や運行スケジュールを合わせて運行する地域交通のこと。



湖東厚生病院前での町巡回バス

## 高額ワクチン町単事業で

### 事業実施に向けた提案

**三浦** 高額ワクチンは昨今の物価高騰で生活を優先して接種を延期している町民がいる。県内他市町では補助が行われているワクチン接種でも井川町では行われていないこともある。町単独事業として行うのは難しいか。

**健康福祉課長** 町として、ワクチン接種で

予防が可能な病気であれば町民に対して接種を推奨し、健康的で質の高い生活を送れるよう支援していく。

**三浦** 他市町村が行っているのではなく、井川町が率先して町単独事業として行う判断はできないか。

**健康福祉課長** 補正予算案を承認しただけ

れば带状疱疹ワクチン接種などの助成は10月1日以降の接種とし、対象は接種日時点で50歳以上の方としたい。実施にあたりほかの自治体の動向で

はなく、町民の健康のため財政面も含め内容を検討した結果、この度の事業実施に向けた提案に至ったものである。

**三浦** すでに带状疱疹ワクチン接種を受け

た町民に対しての対応は。

**健康福祉課長** 遡及して助成する計画はない。理由としては診療所で

带状疱疹ワクチンを接種された方が今までのいなかったことと、自己負担であっても接種を行ったのであれば費用負担が可能であったと判断した。

50歳を過ぎたら気をつけたい  
たい じょう ぼう しん  
**带状疱疹**

令和5年  
第2回(8月10日)  
**井川町議会  
臨時会**

◎和解及び損害賠償の額を定めることについて

●事故の概要

井川町が管理している町道の舗装が剥がれ、穴があった状態となり、その穴に自動車の左側前輪が落ちタイヤがパンクしたほか、ホイールも傷ついた。

●過失割合 50%

●損害賠償金額 7万6,610円

●財源内訳

全額、井川町加入の全国町村会総合賠償補償保険で対応。町の支出なし。

全員可決

◎和解及び損害賠償の額を定めることについて

●事故概要

井川町が管理している町道の舗装が剥がれ、穴があった状態となり、その穴に自動車の左側後輪が落ちタイヤがパンクした。

●過失割合 50%

●損害賠償金額 8,750円

●財源内訳

全額、井川町加入の全国町村会総合賠償補償保険で対応。町の支出なし。

全員可決

●主な内容

1,750万円とする。

◎専決した事件の承認について

大雨による災害対策のため、補正予算の措置が必要であったが、事件が非常に急を要するため。

全員承認

◎令和五年度井川町一般会計補正予算(第5号)について

4,390万円を追加し、34億6,140万円とする。

●主な内容

農地災害復旧費↓320万7千円。農業用施設災害復旧費↓394万円。林道災害復旧事業費↓480万円。道路災害復旧事業費↓2,359万3千円。河川災害復旧事業費↓813万6千円。その他公共施設災害復旧費↓22万4千円。

全員可決

**井川町議会全員協議会**

第5回  
令和5年8月29日

案件

- 一. 特別職の報酬について
- 二. 議会発議(案)について

第6回  
令和5年9月14日

案件

- 一. 議員発議(案)について
- 二. 公印省略について
- 三. 議員報酬について

**井川町特別職報酬等審議会答申書より**

(1)現在の報酬額に留める意見。

(2)議員定数12名の報酬等の総額の中で、1名定数を削減した相当分を増額すべきとの意見。

(3)一律に削減した平成17年の報酬に戻す意見。

(2)の意見が多数を占めたが、(3)の意見も複数あったことから、報酬額に幅を持たせた答申とすることに決定。

**付帯意見**

●議員 231,000円

235,000円

範囲内の額

(1)議員活動が町民の目に見えない状況である旨の発言が多いことから、今後は活動状況を今以上に公開する必要がある。

(2)人口規模に比較し、議員定数が多いとの意見が多数。定員10名が適当との意見が多数である。

(3)平成17年の開催から18年間、審議会が開催されなかったことを反省し、今後は経済状況や社会情勢を勘案しながら、数年に一度は開催することが望ましい。

●議長 271,000円

280,000円

範囲内の額

●副議長 244,000円

250,000円

範囲内の額

**町監査委員会審査の総括的意見《要旨》**

審査の結果、一般会計、特別会計、水道及び下水道事業会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査等の計数は関係帳簿及び証書類と符合しており、正確なものと認められた。また、予算の執行状況並びに会計経理事務及び基金の運用状況等も適正と認められた。加えて、町税等の収納率については依然として低位であるため、引き続き未収金の新規発生の防止に努めるとともに、有効な徴収方法を講ずるなど適切な債権管理を行う必要がある。人口減少対策や高齢者の増加に対応したきめ細かな政策の展開や、更なる子育て支援対策の充実など住民福祉の増進に努め、井川町総合振興計画の基本理念の達成に向けた施策の展開を要望する。

井川町監査委員 藤田 馨・松田 弘咲

# 発議・陳情・人事案件

## 議員発議第14号

井川町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

本則中「12人」を「11人」に改める。  
この条例は、公付の日から施行し、次の一般選挙から適用する。

全員一致

## 議員発議第15号

井川町議会委員会条例の一部を改正する条例について

第2条第2号中「6人」を「5人」に改める。  
この条例は、公付の日から施行し、次の一般選挙から適用する。

全員一致

## 議員発議第16号

地方自治法第180条第1項の規定による町長専決処分事項の指定について

一、議会の議決を経た工事または製造の請負契約について、契約金額の10分の1を超える範囲内において変更すること。ただし、当該変更に係る金額が500万円を超える場合を除く。

二、法律上、町の義務に属する賠償補償につき、1件50万円以下の範囲内において、その額を定めること及びこれに伴う和解をすること。

三、次に掲げる補正予算を定めること。  
(1)災害又は突発的な事故により、緊急かつ応急的に必要となる歳入歳出予算の補正（支援活動に要する経費に係る補正も含む）  
(2)解散、欠員等の事由に基づく緊急を要する選挙費に係る歳入歳出予算の補正。

四、条例の主旨を変更しない範囲の字句の修正に關すること。

五、会計年度末における地方税法の改正に伴う必要な条例の改正をすること。  
この指定は、議決の日の翌日から効力を生ずる。

全員一致

## 議員発議第18号

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について

全員一致

## 陳情

9月議会で受理した陳情1件は全員一致で採択され、関係機関に意見書を提出した。

◆学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級

編成基準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについて。

教員基礎定数の算定方法を改善し、正規教員を増やすための事を求める。

一、公立小中学校・高等学校の学級編成基準を改正し、少人数学級制を拡充すること。  
二、基礎定数の「乗ずる数」「除すべき数」の数値を改正し、教員の授業担当時数の軽減を行うこと。

## 議員研修会

井川町議会だより編集委員会行政視察研修

研修場所 岩手県岩泉町議会

期間 令和5年7月13日～14日

参加者 議会だより編集委員6名

議会だより編集技術向上を目的とし赴く。

岩泉議会だよりは、町村議会広報全国コンクールで、最優秀賞を受賞している。その事を踏まえ、学ぶべき点や参考になる意見を吸収できたと思う。

### 具体的な感想

- ①「議会として町民に伝える事項は何かを議論し、町民の声を交えながら紙面をつくる」全てを載せようとすると町との差は歴然であった。
- ②町民参加で読みやすい議会だよりを作るために大事な事を残して、簡単に短くする。「小学5年生がわかる議会だより」「初めて見る人にもわかる」だより発行を目標にした。
- ③数字や統計データが関連する場合、グラフを使い、文章で伝えにくいところは写真を活用するのが効果的。また議員の質問のその後の経過や結果を掲載すべき。
- ④「まちの声」を掲載すれば町民は関心を示すと思う。

議会だよりを広く町民に読んでもらうためにも今回の研修で感じた事や「これはいい！」と思う事を積極的に取り入れながら編集していければと思う。  
岩泉議会だよりの皆様、本当にありがとうございました。

## 人事案件

教育委員会委員の任命への同意

再任 遠藤 勇 人 (今戸町内)

令和5年9月30日をもって任期満了となるため。

私の

変わらぬもの



井川町芸術文化協会  
会長 小林 康子  
(施田町内)

9月2日、コロナ禍で延期になっていた男鹿・潟上・南秋地区芸術文化振興大会が4年ぶりに井川町で開催されました。

来場者120名。大会にあり町の協力を、会員のみならずの協力を深く感謝しております。

さまざまな制限があったコロナ禍の3年間でした。そうした中、周りの風景は変わりがなく春は桜咲き、里山からは郭公や鶯の鳴き声が聞こえ、秋のやがては枯れてしずまる季節の移ろいに、どんなに安らぎを得ることができたか。

「小林さんは井川のどこいらへん？」と秋田市内の友人に尋ねられることがままあり、私はザツクリと説明します。

「日本国花苑の近くで（車で5分程の距離が近いと言えるかどつかは別として。なによりも日本国花苑は大抵の人

が知っている）里山があり、川が流れていて、空が広く、星がとても美しく見えるところ」と。

思えばふんだんにあるこの地の自然も人とのつながりも、今の時代ぜひいたくなことの一つかもしれません。

コロナ禍で、記録的大雨で、大きく言えばウクライナの戦争で、私たちは平穩の大切さを身を以って知りました。変わらぬ日常が平穩であるよう、そしてこの平穩が未来にも繋がることをだれもが願わずにはいられないと思います。

猛暑の季節も過ぎ、初秋の今、虫の音を聞きながら眠りに入るときの静まりの心地よさ。

朝露を浴びた実りの稲穂の輝き。  
変わらぬものが残っているこの地が好きです。

議会のうごき

- 6月20日～21日 北海道、東北町村議会議長会会長・局長会議  
(会場：サンルーラル大潟  
行政視察：井川義務教育学校)
- 25日 第62回町民体育大会 (井川義務教育学校グラウンド)
- 26日 井川町福祉会第3回理事会 (桐ヶ丘)
- 28日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会 (八郎潟町役場)
- 7月2日 井川町小型ポンプ操法大会 (浜井川地区グラウンド)
- 11日～13日 全国町村議会議長会及び要望活動  
(全国町村議員会館及び東京都内)
- 13日～14日 議会だより編集委員視察研修 (岩手県岩泉町)
- 20日 第59回井川町老人クラブ大会 (農村環境改善センター)
- 24日 八郎潟町・井川町衛生処理事務組合定例会 (八郎潟町役場)
- 25日 井川町福祉会第4回理事会 (桐ヶ丘)
- 8月1日 井川町戦没者追悼式 (農村環境改善センター)
- 2日 町村長と町村議会議長との政策研究会 (秋田県市町村会館)
- 10日 第4回井川町議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 10日 第2回井川町議会臨時会 (役場：議場)
- 15日 令和5年度井川町二十歳の集い (農村環境改善センター)
- 22日～23日 岩手県、秋田県、山形県合同町村議会議長等中央研修会 (東京都：全国町村議員会館)
- 29日 第5回井川町議会全員協議会 (役場：大会議室)
- 29日 第5回井川町議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 30日 議会だより編集委員以降4回 (役場：小会議室)
- 30日 臨時南秋田郡議会議長連絡協議会 (八郎潟町役場)
- 9月2日 男鹿・潟上・南秋地区芸術文化振興大会  
(農村環境改善センター)
- 4日 第32回暴力団壊滅秋田県民大会 (ミルハス)
- 5日～15日 第3回井川町議会定例会 (役場議場、会議室)
- 14日 井川町敬老式 (農村環境改善センター)
- 14日 第6回井川町議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 14日 第6回井川町議会全員協議会 (役場：大会議室)

編集後記

7月の大雨被害、その後続いた猛暑は農産物に深刻な影響を与えている。特に東部地区では、水不足により収穫皆無の圃場が出た。高温障害による品質・収量の低下は、予想されていた事とはいえ目に余るものがある。

先日、全農秋田の概算金が発表された。昨年より1,000円高いというものの、想定額の最低ラインという声もある。  
不必要な米を大量に輸入しながら、農家への価格保障・所得保障は脆弱そのもの。強い者はより強く、弱い者はお零八れ待ち。新自由主義思想の成せる技か。

(石井 茂 記)

発行責任者	遠藤 政勝
編集委員長	鷺谷 清利
副委員長	佐々木 昌子
編集委員	高橋 剛
編集委員	伊藤 俊郎
編集委員	石井 茂
編集委員	三浦 成利